

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学保健医療学部（研究代表者：吉川輝）では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。このポータルサイトなどによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

保健医療学部における新たなる生理学実習の検証

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月から2021年3月に保健医療学部で開講された「生理学実習/統合科学実習」を受講した学生

2. 研究目的・方法

日々進化する高度医療、高齢化の進展に伴う医療需要の増大、地域包括ケアシステムの構築等により看護師、理学療法士、作業療法士に求められる役割や知識等がこれまでと比較し大きく変化しています。

その中で、理学療法士、作業療法士の学校養成施設カリキュラムについて養成する仕組みを維持・発展させ、理学療法士と作業療法士の質の向上を目的とし理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部を改正が行われ、平成32年4月1日に施行されました。この改正では、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」の項目において、卒業までに学ぶべき知識項目の充実がはかられました。この項目を学生が十分に学修するためには、その土台である基礎医学の教授が必須であると考えます。

基礎医学の教育の充実が必要である一方、基礎医学を担当する教員数の減少、基礎医学講座の統廃合等が行われ危機感が叫ばれています。近年、理学療法士や作業療法士の国家資格を有した研究者、教育者が解剖学や生理学を担当することが増え、コメディカル教育現場での活躍が見られています。生理学の知識を教授する過程において「疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進」につながり学生の学修が効果的に進むよう工夫することが求められています。そこで、この取り組みの一つとして生理学実習での内容が挙げられます。

そこで、本研究計画は、既存の生理学実習に加え、新たな生理学実習の項目の作成を目的に、学生からの実習評価アンケートを検証し「疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進」につながる動物を用いた生理学実習の項目を作り上げることで、本研究を計画しました。

研究期間

「保健医療学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学保健医療学研究科長の研究実施許可を得てから2022年3月まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本調査に用いるアンケートは、令和3年度において現4年生と3年生が2年次に受講した生理学実習中にGoogle Classroom上で回答して頂きましたものです。

自由回答で得た学生の背景（学科、学年）、実習内容に関する質問（実習目的の理解、実習の進行度、実習の難易度、実習の理解度、実習による学習意欲の向上の有無、実習内容の適切性、オンデマンドと対面での受け捉え方、その他に関して自由記載）となります。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生さんもしくは学生さんの保護者等の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：保健医療学部 保健医療学教育学

氏名：大久保 茂子

住所：226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865

電話番号：045-985-6500

研究責任者：吉川 輝 所属：保健医療学部 保健医療学教育学